

令和6年度第1回 大学等の質保証人材育成セミナー  
「内部質保証実務（シラバスから考える大学設置基準編）」

大学改革支援・学位授与機構

## 1. はじめに

当機構では学位授与や評価に関する事業を行うだけでなく、それらの調査研究も実施していることから「教育の質」に関する「知」や「世界的ネットワーク」などの様々な資産が蓄積されている。これらの資産を当機構の事業だけでなく、我が国すべての高等教育機関にも活用してもらえるよう提供することが「大学等の質保証人材育成セミナー」の目的である。これは当機構を中心とした「教育の質」に関する知識循環を構成する重要な要素として今年度も実践性だけでなく中長期的な展開も視野に入れ、大学経営全般の質向上を想定したテーマを設定させていただいた。「内部質保証実務（今回）」「評価疲れ・解決編」「DEI 対応を考える」の3つである。

教育の質保証においては、個々の授業の最適化だけでなくディプロマ・ポリシー（DP）やカリキュラム・ポリシー（CP）を踏まえたカリキュラム（教育プログラム）の最適化という視点も必要であると考えられる。「よい授業とは何か？」という問いについて、当然、様々な考え方があがるが、カリキュラム・マネジメントの観点からは「その授業がカリキュラムの中で適切な役割を果たしているかどうか」ということも重要ではないだろうか。

今回は、教育の内部質保証活動として一般的に行われている「シラバスの点検」を題材に DP 等で掲げた学習成果の達成のために、どのような観点で授業を点検すればよいのか、ということについて、大学設置基準等（当機構の基準、分析項目）の視点、カリキュラム・マネジメントの視点から考えて行きたい。

## 2. 今回のセミナーの達成目標

- ・ 自大学のシラバスの各項目について、その意味や意義について、学則（大学設置基準等）などを踏まえ説明することができる。
- ・ シラバスについて、「とにかく埋めてもらう」ような運用から、学生にとっては学びのガイド、教員にとっては授業設計を助けるツールとなるような運用に向け、現状と課題を整理することができる。

## 3. 期日・会場

令和6年9月20日（金）13：00－16：50

大学改革支援・学位授与機構 竹橋オフィス 1112 会議室

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター 11 階

東京メトロ半蔵門線 / 都営三田線・新宿線神保町駅 出口 A8、A9 徒歩 6 分

東京メトロ東西線竹橋駅 出口 1b 徒歩 5 分

#### 4. 対象と募集人数

高等教育機関における教育の内部質保証の実施担当者等を対象とします。内容としては、当機構の実施する各種評価に特化したものではなく、一般的な内容で進めさせていただきますので、受審されている（受審を予定している）評価機関を問わずに参加いただけます（当機構の認証評価の基準や分析項目について言及はありますが、基準をクリアするための具体的手順の提示ではないことにご留意ください。これまでの事業や調査研究から得られた「考え方」などを中心とした知見の共有の場であるとお考えください。また、当機構の大学機関別認証評価の基準等を詳細にご存じなくとも支障がないよう研修は進めさせていただきますが、事前にご一読することをお勧めします）。

- ・ 第 1 部（講義編）につきましては、オンラインでの受講となりますので、特段、募集人数の上限は定めておりません。
- ・ 第 2 部（演習編）は、対面形式となり、20 名を上限とします。申し込み開始から 1 週間は、1 大学から 1 名の申し込みとさせていただきます。また、第 2 部参加者の方のみ当機構・竹橋オフィスで第 1 部を受講いただきます。
- ・ オンライン参加、対面参加問わず参加費は無料となります。

#### 5. プログラム

12：45 開場予定

13：00－13：05 開会挨拶（研究開発部長 戸田山和久）

##### <第 1 部（講義編：オンライン配信あり）>

13：05－14：05 「シラバスガイド策定作業を通して考えた授業・カリキュラムの質」

菊池 昌彦（茨城大学 学務部 学務課 課長）

畠田 敏行（大学改革支援・学位授与機構 研究開発部 教授）

[コメンテーター 光田 好孝（大学改革支援・学位授与機構 研究開発部 教授）]

内容：茨城大学の菊池昌彦課長は、教務の現場経験もさることながら教務企画担当者として（いわゆる）教学マネジメントのハンドリング経験も長くお持ちである。具体的には、シラバスガイド、教育の内部質保証マニュアルなどを実質的にとりまとめ（執筆）、運用してきた経験をお持ちである。そのような現場における「シラバス」運用の課題と解決策について、当機構の認証評価担当でもある畠田が大学設置基準や当機構の大学機関別認証評価の基準や分析項目を切り口に「どのようにすればシラバスガイドを作ることができるか、また、それを用いてシラバスの点検ができるのか」ということに迫っていきたい。

なお、随時、工学の研究者でありながら文部科学省での勤務経験（専門官）や委員経験、大学では総長特任補佐などの経験があり当機構の学位授与を含めた各種事業に精通している光田より、政策的な背景や法令解説などを行います。

14：05－14：30 質疑応答（質問記入タイム 14：05－14：10）

- ・ 質疑応答につきましては、現地参加の方も含めオンラインで質問等を入力いただく方式で計

画中です（会場には Wi-Fi 環境も用意します）。

- ・ 質問内容は画面上で共有し読み上げますので、個人名等が入らないようご注意ください。
- ・ 最大延長 14：40 となります。

## <第 2 部（演習編：対面のみ）>

14：40－15：10 演習 1「問題があるシラバスをチェックする」（個人ワーク）

- ・ 当日会場で模擬シラバスを配付しますので、（復習を兼ねて）講義編での情報をもとに問題点を（理由を踏まえて）挙げてもらいます。
- ・ 講師の方から問題点について解説します（答え合わせ）。

15：10－15：55 演習 2「カリキュラムと設置基準を意識したシラバスチェック」（グループワーク）

- ・ 自大学でもっともよく書けていると考える授業科目のシラバスをご持参ください（当日、班のメンバーに配付できるように 5 部お持ちください。参考資料として必要に応じ、カリキュラムの構成図等、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシー等を記した資料等も併せてご持参いただくこともできます。参考資料はお配りいただく必要はありません）。
- ・ こちらで指定した班（4 人程度の班を想定）に分かれていただき、お持ちいただいたシラバスについて、カリキュラムのねらいや大学設置基準等を踏まえ、よい点、悪い点を 1 点ずつ説明していただきます。それについて班のメンバーのみなさんに気が付いた点などをコメントしていただくような演習を行う予定です。
- ・ タイムキープのため機構教職員が班に入ることもあります。

16：00－16：40 発表とまとめ

- ・ 班ごとにグループワークで得られた「シラバスチェックのための留意点」について報告いただき全体で共有します。

16：40－16：50 アンケート記入タイム

- ・ アンケート（オンライン）へのご記入をお願いします（完了した方よりお帰りいただけます）。

## 6. 申し込み方法と期間

- ・ 申し込みは、令和 6 年 8 月 6 日（火）13 時から開始します。当機構「大学質保証ポータル」の案内ページにお進みください。  
<https://niadqe.jp/event/6756/>
- ・ 対面参加希望の方は、9 月 13 日（金）17 時までにお申し込みください（満席になった場合には、その時点で締め切らせていただきます）。
- ・ オンラインのみでの参加の方は、9 月 17 日（火）の 12 時まで受け付けています。
- ・ 申し込みをされますと確認メールがお手元に届きますのでご確認ください。対面参加の方には班分け用の追加情報記入の URL もお送りしますのでご入力ください。

## 7. ご案内

- ・ 資料は、9月18日（水）15時までに電子的に配付します（現地においても原則、紙資料の配付はありません。Wi-Fi 環境は用意させていただきますが、事前のダウンロード等をお勧めします）。
- ・ オンライン会議の接続先の URL、（対面参加の方の）当日の入館方法については資料配付の際に合わせてご案内させていただきます。
- ・ 申し込みを行ったのにもかかわらず、これらの日付を過ぎても当機構から連絡がない場合、下記の問い合わせ先までご連絡ください。（迷惑メールフォルダ等に振り分けられていることもありますので、ご連絡の前にご確認ください。）
- ・ 対面参加の方でご欠席になる場合には、班編制の都合もありますので、下記、問い合わせ先までメールでご連絡ください。
- ・ 広報や報告書作成のために会場の写真等を撮影し、当機構「大学質保証ポータル」等で公表させていただきますので、あらかじめご承知おきください。
- ・ 第1部については、当日参加いただけない方への情報提供も兼ねて「大学質保証ポータル」での公開を計画しています（詳細決まりましたらご案内いたします）。
- ・ 第2部（対面・演習編）では自由な意見交換等を行っていただくため録音、撮影はご遠慮ください（主催者側で記録用に録音等を行う場合はありますが研修事業（成果報告等を含む）以外での利用はいたしません）。
- ・ なお、第2部では、お名前、ご所属、職位のみを掲載した名簿（班分け表）をお配りします。

## 8. 問い合わせ先

大学改革支援・学位授与機構 評価事業部 評価企画課 企画第2係

E-mail : [hyokikaku2@niad.ac.jp](mailto:hyokikaku2@niad.ac.jp)